



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、『スパークス・新・国際優良アジア株ファンド／アジア厳選投資』は、このたび、第9期の決算を行いました。

当ファンドは、主としてスパークス・アジア厳選投資マザーファンドを通じて、アジア（除く日本）の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

< お問い合わせ先 >

スパークス・アセット・マネジメント株式会社
東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス
リテール・ビジネス・デベロップメント部
電話：03-6711-9200(代表)
受付時間：営業日の9時～17時
ホームページアドレス：<https://www.sparx.co.jp/>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

< 閲覧方法 >

上記URLにアクセス⇒「投資信託」より当ファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

交付運用報告書

スパークス・新・国際優良 アジア株ファンド

愛称 **アジア厳選投資** 特化型

追加型投信／海外／株式

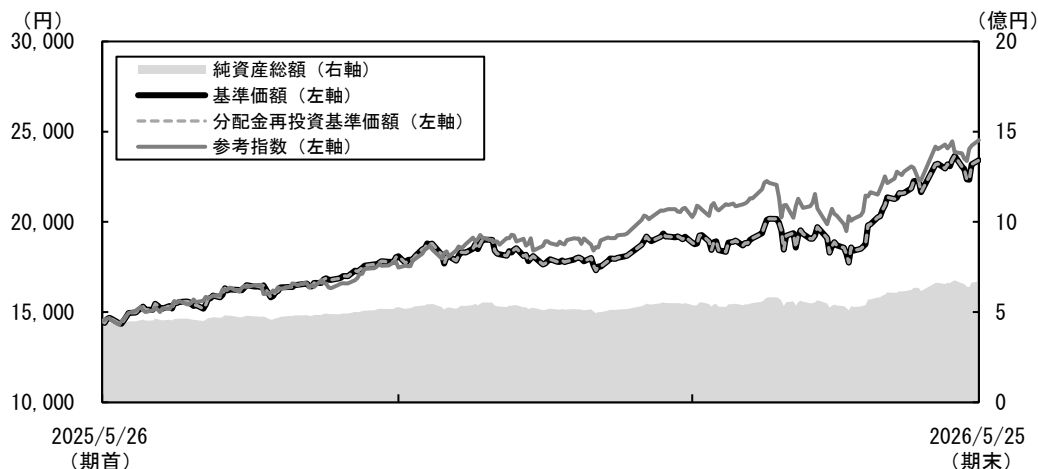
第9期(決算日 2026年5月25日)
作成対象期間(2025年5月27日～2026年5月25日)

第9期末 (2026年5月25日)	
基準価額	23,419円
純資産総額	669百万円
第9期 (2025年5月27日～2026年5月25日)	
騰落率	61.5%
分配金合計	0円

(注) 騰落率は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

運用経過

■ 基準価額等の推移 (2025年5月27日～2026年5月25日)



第9期首 : 14,499 円

第9期末 : 23,419 円(既払分配金0円)

騰 落 率 : 61.5 % (分配金再投資ベース)

※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

※ 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia ex Japan Index(円ベース・配当込み)」です。

※ 参考指数は期首(2025年5月26日)の基準価額に合わせて指数化しております。

■ 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、スパークス・アジア厳選投資マザーファンド(以下、マザーファンドといいます。)への投資を通じて、アジアの優良企業へ厳選投資を行いました。韓国、台湾市場の主にテクノロジー関連銘柄が大幅に上昇したことが基準価額のプラスの要因となりました。一方、ASEAN市場と中国市場の下落が基準価額のマイナスの要因となりました。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2025年5月27日～2026年5月25日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社)	346円 (178)	1.920% (0.988)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・ファンドの運用、開示書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(158)	(0.877)	・購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(10)	(0.055)	・ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	200	1.110	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(200)	(1.110)	・有価証券等を売買する際に発生する費用
(c) 有 価 証 券 取 引 税	123	0.683	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(123)	(0.683)	・有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	330	1.831	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(310)	(1.720)	・海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(2)	(0.011)	・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(18)	(0.100)	・法定書類等の作成、印刷費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	・信託事務の処理等に関するその他の諸費用
合 計	999	5.544	

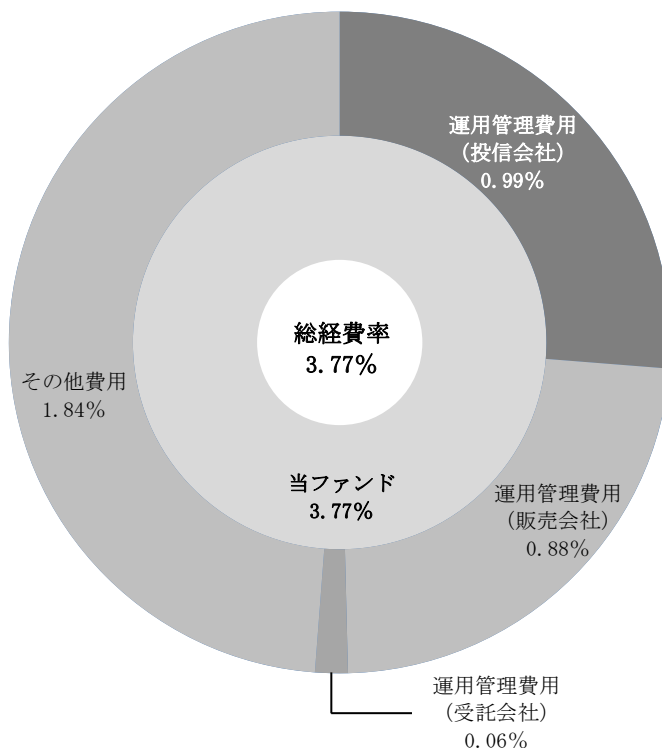
期中の平均基準価額は18,020円です。

- (注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.77%です。



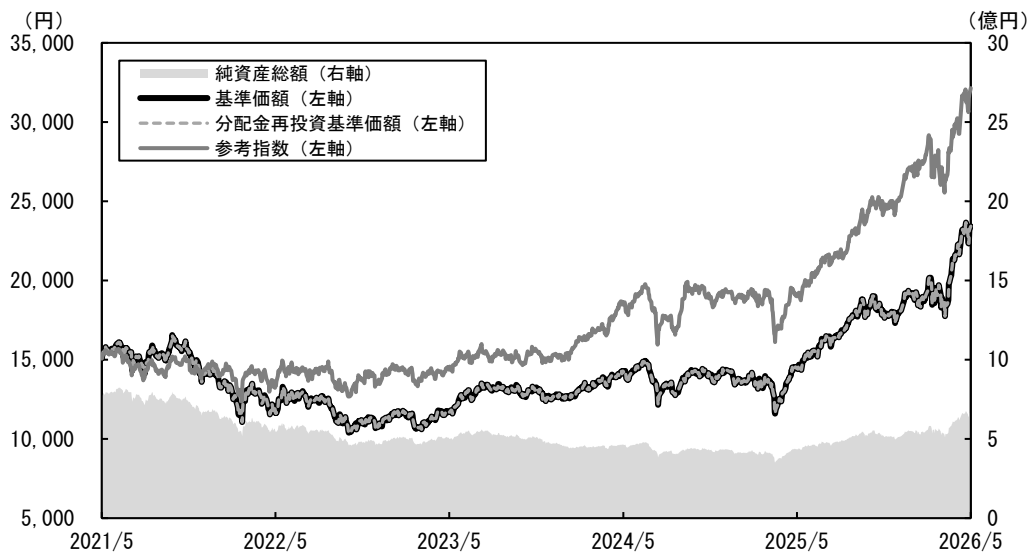
(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 最近5年間の基準価額等の推移 (2021年5月25日～2026年5月25日)



※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

※ 参考指数は2021年5月25日(決算日)の基準価額に合わせて指数化しております。

	2021年5月25日 決算日	2022年5月25日 決算日	2023年5月25日 決算日	2024年5月27日 決算日	2025年5月26日 決算日	2026年5月25日 決算日
基準価額 (円)	15,069	11,622	11,681	14,176	14,499	23,419
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 22.9	0.5	21.4	2.3	61.5
参考指数騰落率 (%)	—	△ 11.5	7.7	29.7	2.1	69.2
純資産総額 (百万円)	766	544	501	460	434	669

※ 参考指数は「MSCI AC Asia ex Japan Index(円ベース・配当込み)」です。

参考指数の詳細は、最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

■ 投資環境

当期のアジア株式市場は、極めて堅調に推移しました。とりわけ上昇幅が大きかったのは韓国市場と台湾市場で、AI(人工知能)技術に対する投資の持続性について市場の信頼感が高まったことにより、半導体サプライチェーンが大きな恩恵を受けました。

一方、中国市場、インド市場、ASEAN市場は比較的軟調に推移しました。

中国市場はセクターによってパフォーマンスの差が大きく、AI関連の半導体や電子機器のサプライチェーンはきわめて好調でした。他方で、当ファンドの参考指数を構成する上位銘柄は主にインターネット関連の大手企業であり、AIによる事業環境の変化の影響で収益が大きく悪化するリスクに直面しているため、株価に下方圧力がかかりました。

インド市場とASEAN市場はAIの世界的動向と関連性が低いことから、その恩恵を受けられませんでした。加えて、中東紛争によるエネルギー価格の高騰により、大きな悪影響を受けました。

■ ポートフォリオ

<スパークス・新・国際優良アジア株ファンド>

当ファンドは、マザーファンドを通じて、アジア(除く日本)の優良企業への厳選投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行うことを基本としました。マザーファンドの組入比率は高水準を維持しました。アジア経済の成長から恩恵を受けるアジア(除く日本)の優良企業に重点的に投資し、インフラ、消費者、革新的テクノロジーといった長期的テーマを注視しました。企業のファンダメンタルズを見極め、投資機会を積極的に掘り起こして、厳選投資しました。

<スパークス・アジア厳選投資マザーファンド>

アジア経済の成長から恩恵を受けるアジアの優良企業に重点的に投資し、インフラ、消費者、革新的テクノロジーといった長期的テーマを注視しました。企業のファンダメンタルズを見極め、投資機会を積極的に掘り起こして、厳選投資しました。

(主なプラス要因)

当期のパフォーマンスにプラスに寄与した主な銘柄は、Samsung Electronics Co., Ltd.(韓国／テクノロジー・ハードウェアおよび機器)、SK Square Co., Ltd.(韓国／資本財)などです。

Samsung Electronics Co., Ltd.は、半導体の世界的リーダーで、SK hynix社(韓国)、Micron Technology社(米国)と並ぶDRAM型メモリ大手3社のうちの1社です。AIの普及に伴い、データ処理量と帯域幅の拡大が急務となっていることから、DRAM型メモリはAI技術において重要な要素となり、高帯域幅メモリ(HBM)の需要拡大要因となっています。HBMは製造工程においてより多くのウェハを要するため、その進化は需要を押し上げるだけでなく、DRAM供給の抑制要因にもなります。そのため、メモリ市場は深刻な品不足により、メモリ価格が大きく上昇していることでSamsung Electronics Co., Ltd.の利益も急拡大しています。

SK Square Co., Ltd.は、SK hynix社の持ち株会社で株式の約20%を保有しています。SK hynix社は現在HBM分野のリーダーであり、Samsung Electronics Co., Ltd.と同じトレンドの恩恵を受けています。同社の株価が上昇するとSK Square Co., Ltd.もその恩恵を受けることになりますが、SK Square Co., Ltd.の株式はSK hynix社の株価に対して、割安な水準で取引されています。経営陣が株主還元の改善を通じてこの問題に取り組んでいることから、その差は縮小し始めています。

(主なマイナス要因)

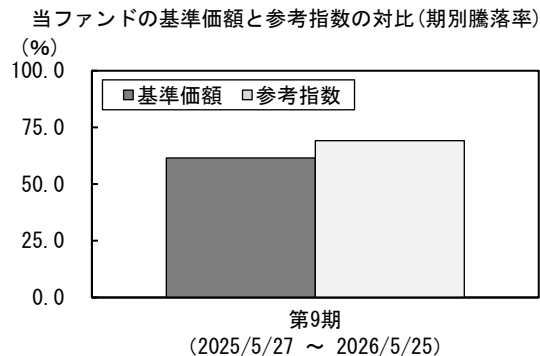
当期のパフォーマンスにマイナスに影響した主な銘柄は、Grab Holdings Limited(シンガポール／運輸)、BYD Company Limited(中国／自動車・自動車部品)などです。

Grab Holdings Limitedは、東南アジアにおける配車・フードデリバリー分野のリーダーです。業績の動向にほぼ変化はありませんが、自動運転が配車プラットフォームに与える影響、インドネシア政府のデリバリー・配車プラットフォーム政策に関する先行き不透明感の高まりなどが、新たな懸念材料となっています。株価の下落要因はこうした先行き不透明感にあることから、短期的には影響を受ける可能性があり、当ファンドは同銘柄を全売却しています。

BYD Company Limitedは、電気自動車分野における世界的リーダーです。中国経済の低迷が続いているため、自動車販売は低調です。中国国内でも競争が激化していることから、当ファンドは同銘柄を全売却しています。

■ ベンチマークとの差異

- ※ 当ファンドはベンチマークを設けておりません。
右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ※ 参考指数は、「MSCI AC Asia ex Japan Index (円ベース・配当込み)」です。



(注) 基準価額の騰落率は、分配金込みです。

■ 分配金

当期の分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案して見送らせていただきました。留保益につきましては、信託財産中に留保し、当ファンドの基本方針および今後の運用方針に基づき運用させていただきます。

〔 分配原資の内訳 〕

(単位: 円 1万口当たり・税込み)

項 目	第9期 (2025年5月27日～ 2026年5月25日)
当期分配金 (対基準価額比率)	— (— %)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	13,419

- (注1) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。
- (注2) 該当欄に数値がない場合は「—」、小数点以下のみの数値の場合は「0」にて表示します。
- (注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

＜スパークス・新・国際優良アジア株ファンド＞

マザーファンドを通じて、アジアの株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。

＜スパークス・アジア厳選投資マザーファンド＞

当ファンドの目標は、主として成長性が高く、割安なバリュエーションで取引されている優良企業群の保有を通じて、魅力的な長期リスク調整後リターンを上げることにあります。

また投資の好機というのは稀にしか到来しないものであることから、到来した場合に備えてポートフォリオの規模を大きめに保っておく方針で、そうした手法を採用することで、中長期的に市場をアウトパフォームできると考えています。

当ファンドは優良銘柄の長期保有を基本スタンスとしています。

ただし、以下の事由が発生した場合には、銘柄の入れ替えを行う方針です。

- ・ 既存保有銘柄が実態価値を大幅に上回って値上がりした場合
- ・ 既存保有銘柄のビジネスが構造的な価値毀損に見舞われた場合
- ・ 当初見積もった企業の実態価値の評価が誤っていると判断された場合、また当該企業が明確に説明できず、当ファンドの側でも明確に理解できない重大なリスク要因が存在する場合も、リスク軽減措置として売却を行う予定
- ・ より魅力的な新規銘柄を発掘した場合

当ファンドは今後も外部環境の変化に関わりなく成長を続けることができる可能性の高い企業を中心に、ポートフォリオを運用してまいります。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

お知らせ

- ・ 「一般社団法人投資信託協会」を「一般社団法人資産運用業協会」に変更するため、投資信託約款に所要の変更を行いました。
- ・ 参考指数の名称をより明確にするため、「MSCI AC Asia ex Japan Index(円ベース)」を「MSCI AC Asia ex Japan Index(円ベース・配当込み)」とする表記見直しに伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。

＜変更適用日：2026年4月1日＞

当ファンドの概要

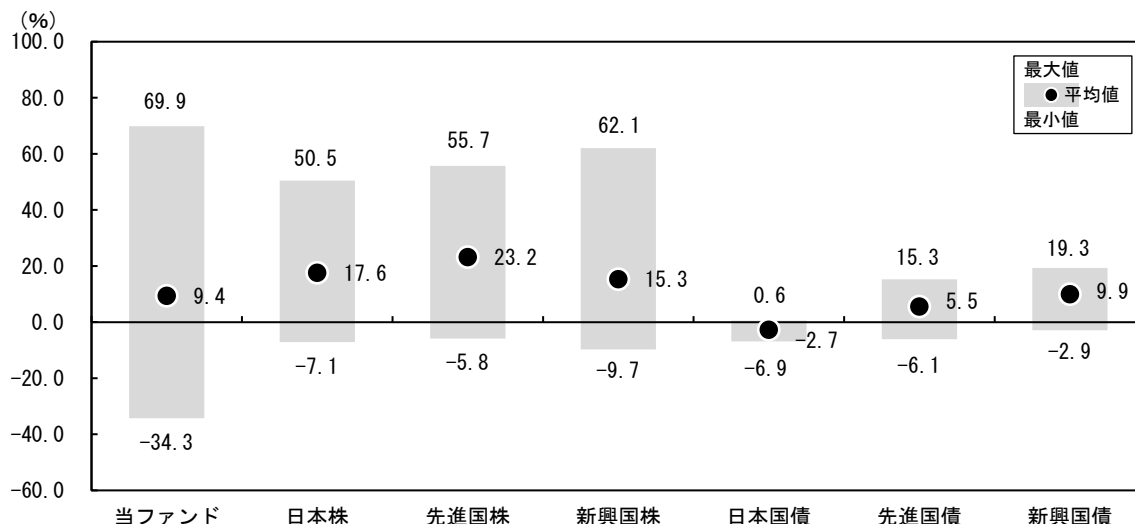
商 品 分 類	追加型投信／海外／株式	
信 託 期 間	無期限（2017年5月26日設定）	
運 用 方 針	当ファンドは、主としてスパークス・アジア厳選投資マザーファンドを通じて、アジア（除く日本）の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。	
主 要 投 資 対 象	当ファンド	スパークス・アジア厳選投資マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	スパークス・アジア厳選投資マザーファンド	アジア企業（除く日本）の株式またはアジア地域（除く日本）の金融商品取引所に上場している株式（これに準ずるものを含みます。）を主要投資対象とします。
当 ファ ン ド の 運 用 方 法	① 主として、スパークス・アジア厳選投資マザーファンド受益証券（以下「マザーファンド」といいます。）を通じて、アジア企業（除く日本）の株式またはアジア地域（除く日本）の金融商品取引所に上場している株式（これに準ずるものを含みます。）に投資を行います。 ② マザーファンドにおいては、ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別して投資を行います。 ③ 信託財産の運用成果の評価に際して、参考指数はMSCI AC Asia ex Japan Index（円ベース・配当込み）とします。ただし、参考指数への追従を意図した運用は行いません。 ④ マザーファンドにおいては、株式等への投資に当たっては、原則として参考指数、国、業種にとらわれず、魅力的と判断した銘柄に絞り込んで選別して投資を行います。	
分 配 方 針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ・分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収入および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等は、収益分配を行わないこともあります。 ・留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

※ 当ファンドは特化型運用を行います。そのため、一般のファンドにおいては、一の者に係るエクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率として 10%を上限として運用を行うところを、当ファンドにおいては 35%を上限として運用を行います。

※ 当ファンドは、ベンチマーク等を意識せず、弊社独自の調査活動を通じて厳選した少数の投資銘柄群に絞り込んで集中投資することとしているため、個別銘柄への投資において、当ファンドの純資産総額に対して実質的に 10%を超えて集中投資することが想定されています。そのため、集中投資を行った投資銘柄において経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

(参考情報)

■ ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較 (2021年5月末～2026年4月末)



(注1) 2021年5月～2026年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注2) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注3) 当ファンドは税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注4) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※ 各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債・・・FTSE新興国市場国債インデックス(円ベース)

* 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

* 詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

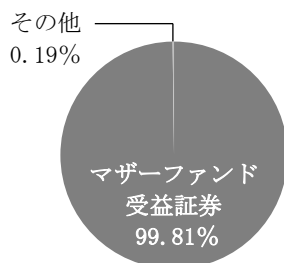
当ファンドのデータ

■ 組入資産の内容 (2026年5月25日現在)

< 組入ファンド >

ファンド名	第9期末 2026年5月25日
スパークス・アジア厳選投資マザーファンド	99.81%
組入銘柄数	1ファンド

< 資産別配分 >



< 国別配分 >



< 通貨別配分 >



※ 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

※ 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

■ 純資産等

項 目	第9期末 2026年5月25日
純資産総額	669,161,075円
受益権総口数	285,730,977口
1万口当たり基準価額	23,419円

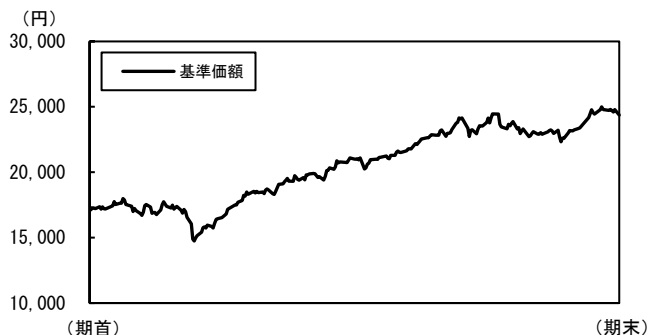
(注) 当期中における追加設定元本額は40,331,664円、同解約元本額は54,575,480円です。

■ 組入上位ファンド(銘柄)の内容

【スパークス・アジア厳選投資マザーファンド】 (2026年1月26日現在)

< 基準価額の推移 >

(2025年1月28日～2026年1月26日)



< 1万口当たりの費用明細 >

項 目	当期 2025年1月28日～ 2026年1月26日	
	金 額	比 率
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	272円 (272)	1.343 % (1.343)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	122 (122)	0.602 (0.602)
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	346 (284) (62)	1.708 (1.402) (0.306)
合 計	740	3.653
期中の平均基準価額は20,251円です。		

< 組入上位10銘柄 >

	銘 柄 名	通 貨	比率(%)
1	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd.	新台幣ドル	16.08
2	Samsung Electronics Co., Ltd.	韓国ウォン	7.24
3	Zijin Mining Group Co., Ltd. Class H	香港ドル	5.65
4	Tencent Holdings Ltd	香港ドル	5.25
5	Standard Chartered PLC	香港ドル	4.83
6	DBS Group Holdings Ltd	シンガポールドル	4.63
7	Futu Holdings Ltd. Sponsored ADR Class A	アメリカドル	4.56
8	Hesai Group Class B	香港ドル	4.45
9	LIG Nex1 Co., Ltd.	韓国ウォン	4.25
10	Shriram Finance Limited	インドルピー	4.23
組入銘柄数		20銘柄	

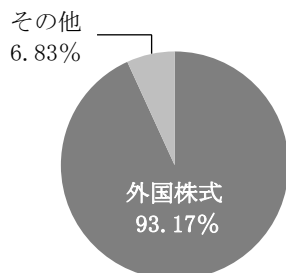
※ 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

(注1) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。2ページ(1万口当たりの費用明細)の項目の概要および注記をご参照ください。

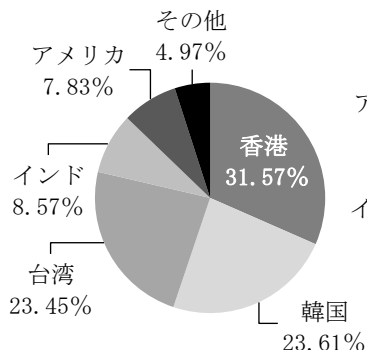
(注2) 基準価額の推移、組入上位銘柄のデータは2026年1月26日現在のものです。

(注3) 各々の表にある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

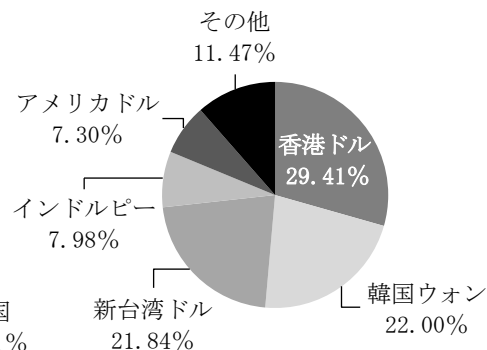
< 資産別配分 >



< 国別配分 >



< 通貨別配分 >



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2026年1月26日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。国別配分は、発行国（地域）または投資国（地域）を表示しています。

指数に関して

< 当ファンドの参考指数について >

当ファンドの参考指数であるMSCI AC Asia ex Japan Indexは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除くアジア地域の先進国と新興国の大型・中型株で構成されています。また、MSCI AC Asia ex Japan Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

< 代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数 >

日本株：東証株価指数(TOPIX) (配当込み)

東証株価指数(TOPIX)は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。TOPIXは、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社(以下「J P X」といいます。)の知的財産であり、J P XはTOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

日本国債：NOMURA－BPI国債

NOMURA－BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社(以下「NFRC」といいます。)が公表している指数で、NOMURA－BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、NFRCおよびその許諾者に帰属します。NFRCは、ファンドの運用成果等に関し、一切責任ありません。

先進国債：FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

新興国債：FTSE新興国市場国債インデックス(円ベース)

FTSE新興国市場国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※ 上記指数はファクトセットより取得しています。